

森と緑の会だより 2008冬号

守れ、水源の森！高知-徳島 両県初のシカの食害対策交流活動

平成 20 年 11 月 11 日(火)、高知県の香美市立大栃中学校全校生徒と徳島県的那賀郡那賀町立木頭中学校 3 年生全員が協力して、奥物部三嶺系の「みやびの丘」で、シカの食害から樹木を守ろうとネット巻きを行いました。(次頁へ)



守れ！水源の森！

子どもと自然は大の仲良し。 11 月 8 日(土)、フォーラムもりのようちえんを開催。場所は、高知市鏡吉原ふれあいの里。講師は、全国森のようちえんフォーラムをプロデュースした北海道のNPO法人ねおすの専務理事宮本英樹氏。



午前中は、かがみ幼稚園 12 名の園児と一般参加の子どもたちが大人と一緒に雨の中で自然探索や竹細工を体験。午後は、講演とパネルディスカッション。

フォーラムでは多くの学びや気づきがありました。様々な植物や昆虫、複雑な地形など森の持つ特性が、命への気づき、コミュニケーション力や協力する力、体力やバランス感覚、忍耐力やチャレンジ精神、自然に対する畏敬の念や無力感等を育むこと、また、脳神経は体験することで絡まり合い知恵となること、お腹がすけば早寝 早起すること等々。森には幼児期に必要な多くのものがあります。素晴らしい教育力があります。



フォーラム「もりのようちえん」子どもは自然の中でよみがえる

大桁中学校38名&木頭中学校15名、力を合わせて

(前頁の続き)三嶺の森は、高知県では物部川、徳島県では那賀川の源流に位置し、豊かな自然をもつ山系です。シカの食害問題は、まだまだ一般には、問題意識が低いのが実状です。森に県境はなく、次世代をになう両県の子供たちに、この状況を実際に現場で見てほしいということで、(社)とくしま森とみどりの会の協力を得て、徳島県側にも参加を呼びかけていただき、実施することができました。午前中は被害の観察と、三嶺の森をまもるみんなの会・依光良三代表の話を聞き、多くの生徒達が森にこのような被害が出ていることを知らなかったと話していました。午後は、問題意識を持って真剣に作業をし、163本の木にネットを巻きました。



当日は、ちょうど「四国はひとつ」のスローガンのもと制定された「四国山の日」。7班に分けて活動を行いました。活動にあたっては、三嶺の森をまもるみんなの会に各班のスタッフを担当していただきました。高知中部森林管理署、高知県、徳島県、地元香美市からも大きなご協力をいただきました。ありがとうございました。この日の様子が12月21日(日)10:55~「がんばれ高知!!eco 応援団」KUTVテレビ高知で放送されます。-平成20年度中央「緑の募金」公募事業-

2人の記念の森に。新婚さんが丁寧に植栽 第9回三翠園ウエディングフォレスト。新たな森は 高知市鏡吉原。桜満開に！と100組が希望。

11月3日(月 祝)、高知市鏡吉原で第9回ウエディングフォレストを開催しました。今回から、新たな森として高知市鏡吉原ふれあいの森に記念植樹をしました。100組が希望し、うち43組が当日実際に参加して行いました。

三翠園代表取締役松尾徹人社長、当会川合通子理事長の順に挨拶をしました。今回は、地権者から当日まで地元高知市鏡吉原山吹会のみなさんに全面的にお世話になりました。記念の看板の序幕式をし、オオヤマザクラをめいめいが1本ずつ植えました。その後、昼食は百日紅の地元の食材をふんだんに使ったバイキング、その後希望者に竹のマイ箸づくりを行いました。木の成長を見にご家族でまたおいでください。



記念写真の背景の山が、今回の記念植樹地。桜でいっぱい森になあれ！

鏡野公園に親しもう！ お隣の片地小学校1・2年生と実施

鏡野公園では、鏡野公園クリーンアップ協議会を立ち上げ、地元との協力で管理を行っています。親しみのある公園にする取り組みの

一環として、11月4日(火)、片地小学生33名と一緒に、当会事務局藤田と森林ボランティアの小松昇さんで名札かけを行いました。この



それぞれの木に特徴があるんだね

公園は植えられている樹木も多く、せっかくなので、木に親しめるゲームも行いました。その後、自分達の選んだ木々に、手作りの名札がかけられました。



木製の名札をさっそく取り付けました

この人に木きたい！③

「高知県緑の協力員連絡協議会」は、平成元年6月に、緑化運動を推進し、木の文化県高知にふさわしい花と緑のまちづくりの輪を広げる一環として郷土の緑づくりに積極的に協力していくことを目的に設立された団体です。今回は、会長の織田篤子さんにお話を聞きました。



あだ 篤子 会長

緑の協力員は、高知県が行った「緑の協力員」養成講習会修了者で構成されています。設立当時は、一般人による緑化のボランティア団体はまだ珍しく、平成4年の吾北村育樹祭の時には全面的に協力して、会場場所の整備や道路整備に汗を流し、本番を迎えた時の感激は貴重な思

い出だそうです。

緑の協力員会長として

協力員に入ったきっかけですが、講習への参加に県からお誘いがあったのは、当時町内会だったご主人に、でした。しかし、ご主人は仕事が忙しく、講習には出られない、そこで、ご自身も緑が大好きなので、女性でもかまいませんかと県に問い合わせ、受講したそうです。そして、ご主人もその後受講し、お二人で活動をしてきました。

織田さんが会長に就かれたのは、平成10年7月で、今から10年も前！のこと。国有林OBの方達も多い会員の中で、織田さんが会長を務めているのは、専門でないからこそ、会員のみなさんが支えてくだ

さり、ここまでやってこれているとのことでした。

また、春・秋の緑の募金街頭活動にも毎回参加・協力をしていただいております。街頭活動にまつわるお話もしてくださいました。

「緑の募金」街頭活動で

今年秋の「緑の募金」街頭活動の日、織田会長はご自身も参加しながら、子ども達が声を上げて呼びか



街頭募金活動中の織田会長(左)

けている姿を見ていました。最近是不景気のせいか、協力いただくのが難しく、苦

労している姿を見て、終了間際にそこにいた子ども全員の募金箱に寄付されたそうです。「がんばっている子たちの気持ちを考えるとね」とにっこり。

また、ご主人も何度も街頭活動に参加いただきましたが、控えめであまり募金が集まらなかったとか。そこで、外出してはポケットに貯まる小銭を、タンスの引き出しに入れて貯め、街頭募金の都度持って行っては寄付をされたそうです。今年先立たれたのですが、引き出しに貯めていた小銭がまだありましたと、秋の街頭活動の際に募金をしてくださいました。ありがとうございました。ご主人様のご冥福を心からお祈り申し上げます。

秋の「緑の募金」街頭活動実施

10月11日(土)～13日(月 祝)、高知市中央公園にて、都市緑化祭2008が開催。今年も初日に街頭募金を実施しました。2日目は、よさこい鳴子踊り3チ



ームにご協力いただき、演舞中に、緑の募金箱を持って巡回し、観客からご協力いただきました。



11月11日は「四国山の日」 四国はひとつと、1・2日に山の日行事

平成16年に四国山の日が制定されて以来、4県持ち回りで行っている山の日行事。今年は高知県で開催されました。当会は、実行委員会のメンバーとして、森林環境教育部会を担当。11月1日は、高知工科大学で、シカの食害問題をとおして、自分達が出来ることというテーマで講演を聞き、海、農業、教育で活躍されているパネラーの話題提供をいただき、参加者も実際に考える時間をとながら行いました。2日目は、2つの会場に分かれ、山に親しむイベントが実施されました。



異なる分野の話題提供の中で自分達に何ができるかを考えました



2日目の県立南喜ヶ峰森林公園での開会セレモニーのようす

四国森林管理局、高知県森林部、緑の協力員、高知県子ども会連合会緑の少年団、NCB、緑の募金公募事業団体として、遠方からも参加。土佐清水市ライオンズクラブ、県立四万十高等学校、四万十樵塾、本山町から白髪山行川観光保勝会と吉野ふれあい花壇、松本地区自治会(土佐山田町)、高知緑と水の会、高知県緑サポーター会、千本松原の松を育てる住民の会、安徽省日中友好の森づくりネットワーク、高知子ども森林インストラクター会養成講座運営委員会に協力いただきました。よさこいは「上町よさこいなるご連」、「サポーターズ、桜(写真)」、(高知中央高等学校)のみなさんが、緑の羽根を胸に、ボランティアでPR。体験コーナーでは、「土佐竹とんぼの会」から材料費収入、樹木医相談コーナーから募金を行いました。皆様どうもありがとうございました。

中国・四国地区の総会で情報交換

11月18日、第57回中国・四国地区緑化推進協議会総会が開催されました。毎年9県が持ち回りし、今年の会場は徳島県でした。会議では9県緑化推進委員会が情報交換や、厳しさを増す募金や運営費等について(社)国土緑化推進機構と活発に意見交換をしました。



高知県から今年は2名の森の名手・名人

毎年全国で認定される「森の名手・名人」。今年は、高知県から次のお二人が選ばれました。

森づくり部門 杉藤 賢一郎氏(そま師)

加工部門 武森 誠寛氏(炭焼き)

次号2009春号で紹介させていただきます。

TOPICS

「車屋さんの植樹活動」2回目を南喜ヶ峰森林公園で11月20日に行いました。オートクラフト'60による車検1台につき500円を貯めた緑の募金への寄付が、緑を増やす活動になっています。第59回日本森林学会関西支部日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会が今年は高知県で10月17日から2日間開催され、1日目は総会・基調講演、翌日は関西・四国から研究発表がありました。当会に事務局を置いていました。

平成20年度中国・四国地区森づくり活動プランナー養成ブロック研修が、今年は山口県で開催され、高知県から1名参加し、森と人をつなぐ手法や考え方を学びました。

新会員のご紹介 2008年夏号以降、賛助会員に新たに加入いただきました。順不同

団体/有限会社東洋瓦、有限会社森田瓦、モデルハイヤー有限会社、有限会社丸中ハイヤー、株式会社オーク、楠永塗装、森澤事務所、有限会社海昌
個人/服部 薫、依光 隆夫、坂本 千代、藤川 義久
(11月末現在:69団体、17個人)

会員は、随時募集していますので、詳しくは事務局まで。

日常の暮らしの中から森づくり

NCB緑の募金カード

環境貢献型カード。これでふつうにお買い物するだけで緑に。入会金・年会費無料。

ほっと一息!森づくり!

~「緑の募金」自動販売機~

同じ飲むなら「緑の募金」自動販売機。対象販売機には、緑の募金の標識がされています。協力企業は下記の3社です。

- ・ダイドードリンコ
- ・四国キャンティーン(コカ・コーラ系列)
- ・岸田サービス(サントリー・アサヒ・ポッカ・大塚製薬・ネスレ)

ハートカードで森づくり!

たまったポイントで気軽にご寄付。サニーマート全店舗設置のハートポイント交換機で、「緑の募金」ボタンをチョイス!

森林環境税。今年の活用ようすはコチラ!

今年も公募事業として、各地の団体が魅力ある企画で行った「うち山の日推進事業」は残すところあとすこし。「山の日先生派遣事業」は、2月末まで、県内の学校等へ講師を派遣し、子どもたちが自然の大切さを学習しています。どちらも、当会のHPで実施の様子をご覧になれます。>> <http://www.moritomidori.com/>



「立川体験交流の会」の山の日イベントのようす(うち山の日推進事業で実施)



山の日先生派遣事業で、間伐体験をする野市小学校4年生(中央東地区)

流域の団体・市町村が物部川に感謝をした一日

11月9日、物部川にて第2回物部川川祭りが開催され、当会も

展示コーナーを設けました。今年も物部森林組合さんの鹿肉の試食コーナーで、奥物部・三嶺のシカの食害の状況について説明し、試食分は緑の募金へ寄付いただきました。ありがとうございました。



巨樹・古木

森と緑の会の前身、高知県緑化推進委員会の時に県内各地の巨樹に看板が立てられました。10年以上経った今、再びそれらの木に会いに行き特集しています。

平石の乳イチョウ(土佐郡土佐町平石)

平石の高台に立つ日本一の乳イチョウ。根元にある石碑には伝承等が刻まれている。根周り11m、樹高43m、幹から垂れ下がる乳根は50本あまり。樹齢は800~1000年とも言われる。昭和3年1月18日、国指定天然記念物。



11月16日、イチョウの葉は黄色に染まっている最中でした

- ・緑の募金に関するお問い合わせ
- ・緑の募金事業に関するお問い合わせ

社団法人 高知県森と緑の会

〒782-0078 高知県香美市土佐山田町大平 80

高知県森林総合センター内

TEL :0887-52-0072 FAX :0887-52-4177

E-mail info@moritomidori.com

ホームページ <http://www.moritomidori.com/>

